



ときわ会の四季 春号

(No.80)



特集

- 写真：ハナミズキ …………… P 1
- 令和 6 年度 医療法人ときわ会 第50回 創立記念式 …………… P 4
- 明生園 施設長就任のご挨拶 小柳 雅是 …………… P 2
- 3 病棟の紹介 3 病棟師長 釜石笑美子 …………… P 3



医療法人ときわ会の理念 ときわ（永遠）の愛

「ときわの愛」とは職員一人一人がそして法人全体が、利用者の求める心の安らぎと身体の健やかさを心から手伝えることです。

理念実践のための 3S（信頼・職員・施設）

1 信頼の確立

- 1.1 各職員が利用者第一主義を徹底します。
- 1.2 自治体・関係施設・組織との連携を推進します。
- 1.3 地域住民の保健から緩和医療までの包括ケア体制の向上を目指します。

2 職員の資質の向上

- 2.1 職員各人が心身の健康管理を徹底します。
- 2.2 情報開示（説明・同意・応需・安全・守秘・非差別など）を推進します。
- 2.3 医療関連職員として職務遂行能力の向上を目指します。

3 施設設備の高度充実化

- 3.1 職員各人が経営基盤の安定化を徹底します。
- 3.2 法人施設相互の連携を推進します。
- 3.3 施設特性を発揮する設備の向上を目指します。

患者様の「権利」と「ご協力」のお願い

ときわ会病院は安全な医療と快適な療養生活をお送り頂くために、患者様に以下の権利をお約束します。またご病気の一日も早い回復のために以下のご協力もよろしくお願い申し上げます。

権利

- 1 病気や健康に対して十分な情報・説明・教育を受ける。
- 2 十分に説明された検査や治療方法を、自分で選び決める。
- 3 自分が納得する計画的チーム医療・看護・介護を公平に受ける。
- 4 自己の尊厳とプライバシーが守られる。
- 5 上記の権利を得られない場合は、病院などに苦情を申し立てる。

ご協力（義務）のお願い

- 1 病気を治すのは患者様ご自身の責任であり、ご自身の心と体の力です。病院の仕事は患者様自身が病気を治すことへのお手伝いであることをご理解ください。
- 2 一日でも早い心身のご回復を目指し、患者様ご自身も病院職員と共にチーム医療・看護・介護に参加する義務があることをご理解ください。

明生園 施設長就任のご挨拶

ときわ会・介護老人保健施設明生園、山本達生(64)前施設長の退任に伴い、2024年4月より施設長に就任しました小柳雅是(61)です。

小柳 雅是



2019年12月初旬に武漢で始まった例のウイルスは、瞬く間に世界中に蔓延し当法人病院や明生園でもクラスターが発生し、ひどいめにあったことは記憶に新しいことと思います。

病原性は低下しているとはいえ、一般世間で報道はされていなくても、今なお死者を出し続けており、クラスターも発生し続けています。このウイルスは地球上から消え去ることはないし、若い人にとっては今後「風邪ウイルス化」していきませんが、高齢者にとってはそうはいかないでしょう。そんな時代に遭遇してしまったのは不運としか言いようがありませんが、自然に委ねて「風邪ウイルス化」を待つのではなく、自然と折り合いをつけて社会生活を営んでいかねばなりません。

2024年3月10日アメリカで行われた映画の祭典アカデミー賞での主演女優賞と助演男優賞の授賞式で明るみに出た、アジア人が無視される「透明化問題」(詳細は紙面の都合上省きます)。マイノリティーやアフリカ系人種問題と違って、暴力的な攻撃は受けていなかったから気づけなかっただけで、明らかに尊厳を欠いた扱いに不快感と憤りを抱いた人もいたでしょう。

ほとんどの高齢者は弱者です。ウイルスに弱く、ほんのちょっとしたことで骨折したり、気が滅入ったりします。認知機能が低下すれば、日常の普通のことさえできにくくなって、差別を受けることもあるでしょう。

介護施設はみなさん一人一人の愛情と尊敬の気持ちで成り立っています。これまで日本社会を支えてきた大勢の先輩方へ畏怖の念、そして、愛情をもって接していきましょう。

どうぞよろしく願いいたします。

3 病棟の紹介

3病棟師長 釜石笑美子

3病棟は回復期リハビリテーション病棟として平成14年5月に開設され、22年目の春を迎えました。“3病棟”と聞くと“2階ですか？”とよく聞かれますが1階にあります。正面玄関から外来を通り過ぎ左に曲がると、ひっそりと見えてくる病棟です。

回復期リハビリテーション病棟は、その名の通りリハビリを行う病棟です。一歩足を踏み入ると、活気のある声が響いてきます。脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患、大腿骨骨折術後や腰椎圧迫骨折の患者様が多く、例年、秋～冬にははしごから落ちた、滑って転んだなどで大腿骨骨折や腰椎圧迫骨折した方、厳寒期は脳梗塞や脳出血が増える傾向があります。最近では“廃用症候群”とあって、コロナ肺炎後や脱水・貧血治療後など、安静状態が長期に続いたことによって様々な心身機能の低下をきたしリハビリが必要になる方もいます。70～90歳代と高齢の方が多く、体力・筋力が低下しやすく戻りにくいことや、認知機能の低下も影響して、治療が終わってもすぐ元の生活に戻ることが難しい方が多いです。

退院後の生活に不安を抱えている方々のため、回復期リハビリ病棟は医師・看護師・介護・リハビリ・社会福祉士・管理栄養士などがチームとなり、退院後の生活の質を第一に考えながら寝たきり防止、早期自宅退院、社会復帰に向けてサポートしています。リハビリは365日介入しており、看護師は体調管理や環境調整を行い、介護と協力して日常生活全般の介助を行っています。また、リハビリで獲得した「できる能力」を日常生活に取り入れ「している能力」になるようチームで情報を共有、連携をはかっています。ケアの「やりすぎ」「やらなさすぎ」に気をつけ、患者さんと相談して同じ目標を目指し、時には患者さんのペースに合わせ「見守る」ことも大事にしています。

“チーム”にはもちろん家族の方も入ります。毎月上記チームによるリハビリテーション評価会議を行い、結果をもとに家族と面談、状況を伝え、今後のリハビリ計画や退院後の生活について検討します。自宅退院の方には家屋調査（患者さん・リハビリ・社会福祉士が実際に自宅に行き、自宅内での実際の動きを確認、強化したい訓練の見極め、必要時住宅改修やサービス調整の提案）を行い、必要時には介護指導やサービス担当者会議を行います。また、施設入所を希望される方には社会福祉士から家族へ施設の情報提供を行っています。介護保険の申請や認定調査、施設の状態確認なども行い、自宅退院・施設退院にかかわらず、退院後の生活がスムーズに過ごせるよう努めています。

3病棟の定床は42床で、看護・介護合わせスタッフ23名と決して多くないですが、患者さんが回復して笑顔で退院していく姿にやりがいを感じています。対象疾患により入院期間が決まっており（最大60日～180日）、急性期病棟や地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟に比べ長期間の入院となるため、患者さんや家族との信頼関係がとても大切です。安心・安全にリハビリができるようスタッフ一同、自己研鑽に励み、これからも取り組んでいきたいと思っております。



令和6年度 医療法人ときわ会 第50回 創立記念式

令和6年4月1日月曜日、午後2時から標記式典を開催しました。

この式典は毎年4月1日に行なわれておりましたが、感染症の流行に伴い5年ぶりの開催となりました。

理事長の挨拶で方針などが示されたあと、10年、20年、30年、40年勤続者表彰が行なわれ、その後法人内の情報共有として令和6年度研究活動報告会が行なわれました。

その後会食を行い、16時50分閉会となりました。

令和6年度研究活動報告会
座長 蝦名 正子

演題

次世代の乳がん検診に向けて
～自己触診からプレストアウェアネスへ～
放射線科 成田 純子

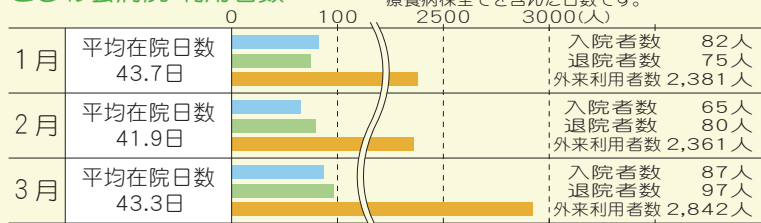
ときわ会病院医局の紹介と高齢者総合診療について
医局 永山 亮造



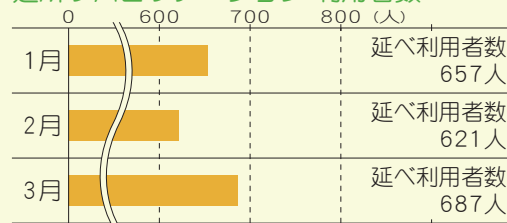
医療法人ときわ会病院 各施設の利用状況

ときわ会病院 利用者数

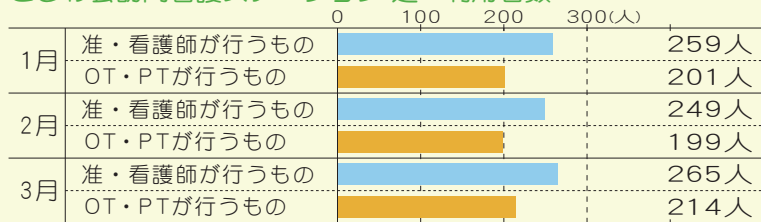
※平均在院日数は一般・回復期リハビリ病棟・療養病棟全てを含んだ日数です。



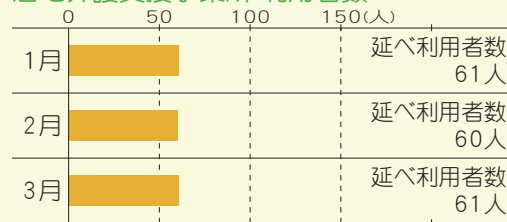
通所リハビリテーション 利用者数



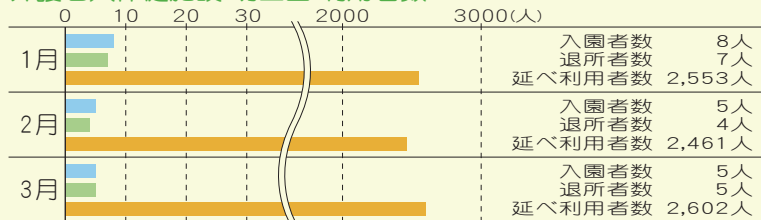
ときわ会訪問看護ステーション 延べ利用者数



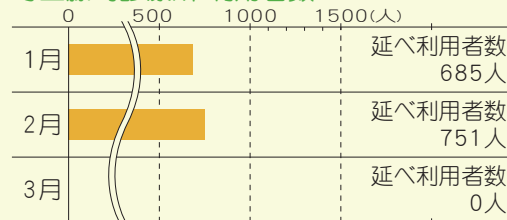
居宅介護支援事業所 利用者数



介護老人保健施設 明生園 利用者数



町立藤崎診療所 利用者数



編集後記



先日着ようとしたリサイクル着物の袂から待ち針と思われる先端が覗いていました。何度か着たり畳んだりしているうちに袂先まで落ちてきたのでしょうか。すこし糸をほどいて出してみると、最近見ないような赤色のぶっくりした待ち針が出てきました。日本のどこかで、おそらく何十年前に閉じ込められ、気づかれずにいたこの待ち針が、ついにまた我が家で本来の力を発揮できるようになった、と思うとなんだか嬉しくなりました。花の蕾や、柔らかい葉っぱもあちこちで出始めました。皆様にとって良い春でありますように。
峯岸 晶子

